

**令和元年(平成 31 年)度
外部評価報告書**

**令和 3(2021)年 3 月
十文字学園女子大学**

はじめに

十文字学園女子大学では、中期目標・中期計画及び年度計画を策定し、これを自己点検・評価の基準として、毎年自己点検・評価を行うこととしています。この点検・評価の結果について、妥当性と客観性を高めるため、大学評価ならびに高等教育の在り方について高い見識をお持ちの産官民学各分野の有識者に外部評価委員へご就任いただき、本学の教育研究及び社会貢献活動全般への助言をいただいています。

令和2年度は、前年度4月に設置届出を行った新しい3学部体制がスタートしました。外部評価委員からもご助言をいただきながら丁寧に強化策等を検討した成果もあり、入試結果も好調でした。一方で一部の学科においては歩留まりが想定を上回ってしまった部分もあり、次年度に向けての教訓になりました。

また、令和2年度は、見えない脅威“コロナウイルス”と向き合う年でもありました。例年のような形で式の式典や授業も行えず、学生の活動も大幅に制限せざるを得ず、教育の在り方を根本から考えさせられた1年でした。そのような中、学生、教職員が協力し合い、年度当初より同時双方向遠隔方式で速やかに授業を開始することができ、ハイフレックス方式で対面授業を再開後も学内を起点とした感染は出ておりません。事態の収束まで、気を緩めずにまいりたいと思います。

I R活動は、これまでに蓄積した各種学生アンケートにおけるデータを今後どのように有効活用していくかが課題となっております。I R機能の充実は、大学の運営にとってこれから益々重要となつてまいりますので、引き続き、外部評価委員会よりご意見・激励を頂戴できればと存じます。

外部評価委員の方々におかれましては、本学の自己点検評価書ならびにそれに付随する資料の事前点検と外部評価委員会における討議や質疑応答により評価作業に当たっていただいております。いただいたご意見やご提言は、本学の基本理念や使命・目的の更なる実現に向け、今後の教育研究等の改善に役立てる所存です。

最後になりましたが、ご多用にもかかわらず、本学のために労をいとわずご協力いただいた外部評価委員各位に心より感謝申し上げます。

令和3年3月

十文字学園女子大学
学長 志村 二三夫

目 次

I 外部評価委員名簿

II 外部評価委員会による評価

III 参考資料

1. 外部評価委員会規程

2 外部評価委員会議事概要

①第 13 回十文字学園女子大学外部評価委員会 議事概要 (案)

②第 14 回十文字学園女子大学外部評価委員会 議事概要 (案)

I 外部評価委員名簿

【令和元年度（平成31年度）～令和2年度】

氏名	職名	総会
アキタ キヨミ 秋田 喜代美	東京大学大学院 教育学研究科長・教育学部長 教育学研究科教職開発コース 教授	○
イワナガ マサヤ 岩永 雅也	放送大学 副学長 教養学部教授	○
オオツカ ユウサク 大塚 雄作	独立行政法人大学入試センター客員教授、 京都大学名誉教授、大学入試センター名誉教授 国際医療福祉大学大学院 特任教授	○
カネコ ヒロシ 金子 廣志	新座市教育委員会 教育長	○
キムラ マヨト 木村 眞琴	株式会社ニコン 相談役	○
ササキ マサミネ 佐々木 正峰	公益財団法人 文化財建造物保存技術協会 前理事長、 国立科学博物館 顧問、元文化庁長官、本学園顧問	◎
スミヨシ ヒロユキ 住吉 廣行	松本大学 前学長	○
タナカ ヨウイチ 田中 洋一	東京女子体育大学 教授・図書館長 (学校法人藤村学園 評議員)	○
ハギノ ゲンジロウ 萩野 源次郎	大和合金株式会社代表取締役社長	○

※50 音順

※◎は座長

※十文字学園女子大学外部評価委員会規程に基づき、平成31年4月に委員委嘱（更新）を行った。

※職名は令和2年度のもの

II 外部評価委員会による評価

(1) 総括

十文字学園女子大学は、総じて順調であると評価する。

(2) 優れた点及び今後期待する事項

- ・少子化が進む中で、入学者の充足率が非常に高くなったということは、経営基盤ということでも考えても大変喜ばしいことである。この結果からしても、1学部9学科から3学部9学科に大きく舵をきったことは、評価できる。
- ・共通科目及び他学科開放科目において、学部学科を超えた学生同士の学び合いができるような仕組み作りは非常に良い取り組みだと思う。更には地域を学習の場とする試みも賛成である。
- ・学年が進むにつれ、学生の社会活動への参加の割合が増加していることは評価できる。これは貴学が地域に開かれた大学を目指している成果といえる。
- ・アンケートの実施において、昨年の回答率に比べると、どの学科も上昇しているのは評価できる。しかし、学科によって差があるのは気になるところである。

(3) 参考意見

- ・3ポリシーは、社会に公表されるものでもあり、一般にわかりやすくまとめられ、発信される必要がある。すべてのポリシーをまとめると数十ページにわたり、この点で無理がある。少なくとも発信の仕方には工夫が望まれる。
- ・アンケート結果に対し、学内でいろいろ問題点を指摘しているので、それは改善してほしい。このように率直な意見が出てくることは、大学としての健全性を示しており、これからの改善に繋がる第一歩だと思う。
- ・アンケートの分析に際しては、学部・学科再編の時期であるため、新学科運営に旧学科の反省を活用し、具体的な改善方策を打ち出していくことを望む。
- ・IR データの活用に関して、今回は学科別学年別での記述統計の集計となっているが、今後は経年での追跡データや、入試データとの紐づけ、科目選択履修傾向と授業満足度、学習時間等を関連付けて解析するなどの統計解析をされていくと、さらに教学上有効に活用できるのではないか。
- ・立派な図書館が用意されながら活用されていないというのは残念である。図書館も待ちの姿勢でなく積極的に呼び込む工夫をすべきであり、授業での課題を予め知り、それらの書籍を用意するなど、教員との連携を図ることが必要ではないか。また、発想を転換して、女子大生に好まれる図書館環境を作っていただきたい。
- ・留学派遣2名は、まだまだ少ないと思う。海外との提携を積極的に行い、大学を活性化させてほしい。
- ・遠隔授業のスタートにあたり、多くの学生に不具合があったということだが、今後も遠隔授業が続くのであれば、大学側としても、個々の問題点を改善していくことが必要であり、大学としての対策、改善を検討してほしい。

Ⅲ 参考資料

1. 外部評価委員会規程

十文字学園女子大学外部評価委員会規程

平成25年9月18日規程第138号

平成25年9月18日制 定

平成31年4月1日最終改正

(設置)

第1条 十文字学園女子大学(以下「本学」という)に、十文字学園女子大学大学評価規程第3条第一項第三号及び第10条に定める外部評価を実施する機関として、十文字学園女子大学外部評価委員会(以下「委員会」という)を置く。

(目的)

第2条 委員会は、本学が実施した自己点検・評価の結果について、妥当性と客観性を高めるため、学外者による検証及び評価を行う他、教員評価や教育研究及び社会貢献活動全般への助言を行う。

(組織)

第3条 委員会は、若干名の委員をもって組織する。

2 委員は本学の設置目的について理解のある学外の学識経験者等から、学長が選考し、委嘱する。

3 学長は、委員を委嘱した場合、委員の氏名・職名等を、速やかに自己評価委員会に通知するとともに、公表する。

(任期)

第4条 委員の任期は2年とする。但し、再任を妨げない。

2 委員に欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(外部評価の実施)

第5条 委員は、本学が実施した自己点検・評価の結果を第2条の規定により検証し、優れた点及び改善を要する事項等を意見して、評価を付す。

2 事務局は、前項に定める委員の意見及び評価を外部評価報告書にまとめ、委員会の了承を得なければならない。

3 学長は、前項に定める委員会の了承後、外部評価報告書を自己評価委員会に報告する。

(事務)

第6条 委員会の事務は、企画評価部企画評価課が行う。

(雑則)

第7条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、学長が別に定める。

2 各部局が実施した自己点検・評価の結果についての外部評価は、この規程を準用し、部局毎に行う。

(規程の改廃)

第8条 この規程の改廃は、自己評価委員会の議を経て、教授会に報告しなければならない。

附則

1 この規程は、平成25年9月18日より施行する。

2 第4条の規定にかかわらず、この規程の施行後、最初に委嘱される委員の任期は、平成27年3月31日までとする。

附則

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附則

この規則は、平成31年4月1日から施行する。

2. 外部評価委員会議事概要

①第 13 回十文字学園女子大学外部評価委員会 議事概要（案）

第 13 回十文字学園女子大学外部評価委員会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、通常の対面式の会議形式を、書面審議に変更して実施した。

意見書兼同意書の提出期間：

資料到着（令和 2 年 3 月 12 日発送）から令和 2 年 3 月 27 日まで

外部評価委員（書面提出者）：

佐々木委員、秋田委員、岩永委員、大塚委員、金子委員、木村委員、住吉委員、田中委員、萩野委員

I 審議事項

1. 第 12 回外部評価委員会議事要旨(案)の承認について
本議案について各委員に諮り、承認された。
2. 平成 30 年度 外部評価報告書(案)の承認について
本議案について各委員に諮り、承認された。

II 報告事項

3. 大学の 3 ポリシーについて
資料 3（新体制のポリシーについて）に基づき、改組による令和 2 年 4 月からの新 3 学部 9 学科体制における 3 ポリシーについて、各委員から意見を伺った。
4. 『平成 30 年度 卒業生・在校生アンケート』及び『令和元年度 新入生アンケート』に対する学科の対応について
資料 4（『平成 30 年度 卒業生・在校生アンケート』及び『令和元年度 新入生アンケート』に対する学科の対応）に基づき、各委員から意見を伺った。
5. 「令和元年度 在学生アンケート（9 月実施分、12 月実施分）」について（集計報告書）
資料 5-1（学生アンケート（1～4 年生）結果報告書（令和元年 9 月実施））及び資料 5-2（学生アンケート結果報告書（令和元年 12 月実施））に基づき、各委員から意見を伺った。

以上

②第 14 回十文字学園女子大学外部評価委員会議事概要（案）

日 時：令和 2 年 9 月 3 日（木）14:30～17:50

場 所：十文字学園女子大学 7 号館 6 階会議室および Zoom ウェビナーでの開催

出席者：81 名

〈外部評価委員〉佐々木委員（座長）、秋田委員、岩永委員、大塚委員、金子委員、木村委員、住吉委員、田中委員、萩野委員

〈法 人〉 十文字理事長、十文字副理事長、岡林本部長

〈大 学〉 志村学長、綿井副学長兼学長補佐、安達教育担当副学長、岡本事務局長、井上企画評価部長（司会）、樫本企画評価部次長、瀬川企画評価課長、神保企画評価課主任、大割企画評価課員、近藤部長

〈陪 席 者〉 学科長、自己点検・評価委員、事務局の部長・次長・課長 他

（以下、敬称略）

冒頭、志村学長より開会の挨拶があった。

1. 第 1 3 回外部評価委員会議事要旨(案)について

第 1 3 回外部評価委員会議事要旨（案）について確認があり、承認された。

2. 令和元(平成 31)年度 自己点検・評価報告書(案)について

令和元(平成 31)年度自己点検・評価報告書（案）について説明があり、意見交換を行った。

3. 本年度前期の授業実施状況について

資料 3-1-①(令和 2(2020)年度新入生アンケート(入試関係)報告書)、資料 3-1-②(令和 2(2020)年度新入生アンケート(満足度・授業の理解度)報告書)、及び資料 3-2(遠隔授業に関するアンケート集計)に基づき、令和 2 年度前期の授業実施状況について説明があり、意見交換を行った。

4. IRデータに対する取り組みについて

資料 4-1-①(2019 卒業時アンケート報告書)、資料 4-1-②(2019 卒業時アンケート報告書(ディプロマポリシーに関する設問))、資料 4-1-③(2019 卒業時アンケート(参考:時系列比較))、及び資料 4-2(退学・除籍者に関する集計)に基づき、IRデータに対する取り組みについて説明があり、意見交換を行った。

5. 認証評価に向けた自己点検状況について

資料 5(令和元年度自己点検評価(トライアルチェックリスト))に基づき、令和元年度自己点検評価(トライアルチェックリスト)について説明があり、意見交換を行った。

志村学長より謝辞があった。最後に事務局から次回の開催予定についての事務連絡があり、閉会となった。

以上